

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 Ⅱ（ファッション・健康スポーツ・観光・フード・英語・ビジネス・医療事務・情報）		1年	後期	木曜日・1時限目
Career Education Ⅱ				
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
（主）松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任		授業中に指示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、コミュニケーション能力、職業理解力、進路実現のためのスキルを高める。				
授業の到達目標				
①職業適性理解力を身につけることができるようにする。②他者の価値観や個性を理解できるようにする。③コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル（技術）を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会を行う。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは、 ①職業適性理解力を身につけることができる。 ②他者の価値観や個性を理解できる。 ③コミュニケーション力を身につけることができる。 ④職業を理解する力を身につけることができる。 ⑤進路実現のためのスキル（技術）を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。コミュニケーション能力を伸ばす。（松崎。小竹ト） 9/26			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす。（秋山）レポート課題1～3の回収。 10/3			
第3回目	マイナビ登録と活用法。（情報系教員・学生支援委員） 10/10			
第4回目	マイナビSPIの受験。（情報系教員・学生支援委員） 10/17			
第5回目	企業や様々な組織の理解。（國分） 10/24			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方。（松崎）内定した2年生の体験談（該当フィールドのキャリア教育委員）。10/31			

第7回目	エントリーシート・履歴書の書き方。（松崎）内定した2年生の体験談（該当フィールドのキャリア教育委員）。レポート課題 4 11/7		
第8回目	業界研究：企業等の人事担当者・卒業生によるキャリア講演会 1 （司会：各フィールド主任・該当フィールドのキャリア教育委員） 11/14		
第9回目	業界研究：企業等の人事担当者・卒業生によるキャリア講演会 2 （司会：各フィールド主任・該当フィールドのキャリア教育委員） 11/21		
第10回目	業界研究：キャリア講演会 1・2 の討論会 （各フィールド主任・クラス担任）レポート課題 5 11/28		
第11回目	業界研究：企業等の人事担当者・卒業生によるキャリア講演会 3 （司会：各フィールド主任・該当フィールドのキャリア教育委員） 12/5		
第12回目	業界研究：企業等の人事担当者・卒業生によるキャリア講演会 4 （司会：各フィールド主任・該当フィールドのキャリア教育委員） 12/12		
第13回目	業界研究：キャリア講演会 3・4 の討論会 （各フィールド主任・クラス担任）レポート課題 6 1/9		
第14回目	小論文・作文対策。（大室） レポート課題 7。 1/16		
第15回目	まとめ（今までの振り返りと今後へ向けて）。（奥水・松崎） 春休みの宿題。 1/23		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。	
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。べ切を過ぎたら減点する。	
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
『大学生のためのキャリアガイドブック』『一般常識チェック&マスター』（必ず購入）。			
履修上の心得・ルール			
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題4は履歴書の下書きとし、課題5と6は、数回のキャリア講演会の内2回の感想文の提出とする。			

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (栄養) Career Education II		1年	後期	木曜日・1時限目
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
(主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任		授業中に指示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、コミュニケーション能力、職業理解力、進路実現のためのスキルを高める。				
授業の到達目標				
①職業適性理解力を身につけることができるようにする。②他者の価値観や個性を理解できるようにする。③コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会を行う。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは、 ①職業適性理解力を身につけることができる。 ②他者の価値観や個性を理解できる。 ③コミュニケーション力を身につけることができる。 ④職業を理解する力を身につけることができる。 ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。コミュニケーション能力を伸ばす。(松崎ハ・小竹ト)。9/26			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす。(秋山)。レポート課題1～3の回収。10/3			
第3回目	マイナビ登録と活用法。(情報系の先生・学生支援委員)。10/10			
第4回目	マイナビSPIの受験。(情報系の先生・学生支援委員)。10/17			
第5回目	業界研究；栄養士関連企業の人事担当者によるキャリア講演会1。(司会；フィールド主任)。10/24			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方。(松崎) 内定した2年生の体験談。(栄養フィールドのキャリア教育委員) 10/31			

第7回目	面接試験の受け方。（松崎） 内定した2年生の体験談。（栄養フィールドのキャリア教育委員）。レポート課題4 11/7	
第8回目	業界研究；企業等の人事担当者によるキャリア講演会2。（司会；フィールド主任）。11/14	
第9回目	業界研究；前回のキャリア講演会の反省会・討論会1。レポート課題5。11/21	
第10回目	業界研究；キャリア・モデル学習。卒業生等によるキャリア講演会3。（司会；フィールド主任）。11/28	
第11回目	業界研究；キャリア・モデル学習。前回のキャリア講演会の反省会・討論会2。レポート課題6。12/5	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習。卒業生等によるキャリア講演会4。（司会；フィールド主任）。12/12	
第13回目	業界研究；キャリア・モデル学習。前回のキャリア講演会の反省会・討論会3。1/9	
第14回目	小論文・作文対策。（大室）。レポート課題7。1/16	
第15回目	まとめ（今までの振り返りと今後へ向けて）。（奥水・松崎ハ）。春休みの宿題。1/23	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。バ切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』『一般常識チェック&マスター』（必ず購入）。		
履修上の心得・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題4は履歴書の下書きとし、課題5と6は、数回のキャリア講演会の内2回の感想文の提出とする。		

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（社会福祉・介護福祉） Career EducationⅡ		1年	後期	木曜日・1時限目
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
（主）松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任		授業中に指示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、コミュニケーション能力、職業理解力、進路実現のためのスキルを高める。				
授業の到達目標				
①職業適性理解力を身につけることができるようにする。②他者の価値観や個性を理解できるようにする。③コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル（技術）を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会を行う。				
学習の成果				
①職業適性理解力を身につけることができる。 ②他者の価値観や個性を理解することができる。 ③コミュニケーション力を身につけることができる。 ④職業を理解する力を身につけることができる。 ⑤進路実現のためのスキル（技術）を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション コミュニケーション能力を伸ばす（松崎ハ・小竹ト） 9/26			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす（秋山） 【レポート課題1～3の回収】 10/3			
第3回目	学生との面談（進路等） ①10/10			
第4回目	学生との面談（進路等） ②10/17			
第5回目	企業や様々な組織の理解（國分） 10/24			
第6回目	業界研究；卒業生によるキャリア講演会① 施設職員（司会；大熊） 【レポート課題4】 10/31			

第7回目	業界研究；卒業生によるキャリア講演会② 本学教員 反省会・討論会【レポート課題5】 11/7	
第8回目	業界研究；キャリア講演会（山田）【レポート課題6】11/14	
第9回目	専門職に就くために準備すべきこと（大熊，新井フ）11/21	
第10回目	専門試験対策（大熊，新井フ）11/28	
第11回目	フィールド別ガイダンス(就職内定者の体験談) 12/5	
第12回目	キャリア・カウンセリング（小竹ト）12/12	
第13回目	面接対策（長江ツ）1/9	
第14回目	小論文・作文対策（大室）【レポート課題7】1/16	
第15回目	まとめ（今までの振り返りと今後へ向けて）（奥水・松崎ハ）春休みの宿題1/23	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。べ切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』『一般常識チェック&マスター』（必ず購入）。		
履修上の心得・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。		

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II（児童） Career Education II		1年	後期	木曜日・1時限目
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
(主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任		授業中に指示する。	授業中に指示する。	授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、コミュニケーション能力、職業理解力、進路実現のためのスキルを高める。				
授業の到達目標				
①職業適性理解力を身につけることができるようにする。②他者の価値観や個性を理解できるようにする。③コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会を行う。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは、 ①職業適性理解力を身につけることができる。 ②他者の価値観や個性を理解できる。 ③コミュニケーション力を身につけることができる。 ④職業を理解する力を身につけることができる。 ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(松崎ハ)。コミュニケーション能力を伸ばす(小竹ト)。 9/26			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす(秋山)。【レポート課題1～3の回収】 10/3			
第3回目	業界研究；キャリア講演会①。卒業生3名(司会；1年担任)。 10/10			
第4回目	業界研究；人事担当者によるキャリア講演会②。幼稚園園長と児童養護施設施設長(司会；1年担任)。 10/17			
第5回目	業界研究；反省会・討論会1。【レポート課題4・5】(クラス別) 10/24			
第6回目	業界研究；キャリア講演会③(藤原)。【レポート課題6】 10/31			

第7回目	フィールド別ガイダンス（実習オリエンテーション等）。 11/7	
第8回目	フィールド別指導（2年生就職内定者の講話）。実習中のため補講。 11/14	
第9回目	フィールド別指導（実習反省会等）。 11/21	
第10回目	専門職に就くために準備すべきこと（松崎ハ）。 11/28	
第11回目	試験（公務員試験等）対策・適性検査への準備（大塚・秋山）。 12/5	
第12回目	キャリア・カウンセリング（小竹ト）。 12/12	
第13回目	面接対策（長江ツ）。 1/9	
第14回目	小論文・作文対策（大室）。【レポート課題7】 1/16	
第15回目	まとめ（今までの振り返りと今後へ向けて）（奥水・松崎ハ）。 春休みの宿題。 1/23	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。バ切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』『一般常識チェック&マスター』（必ず購入）。		
履修上の心得・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題4と5は、キャリア講演会の感想文とする。		